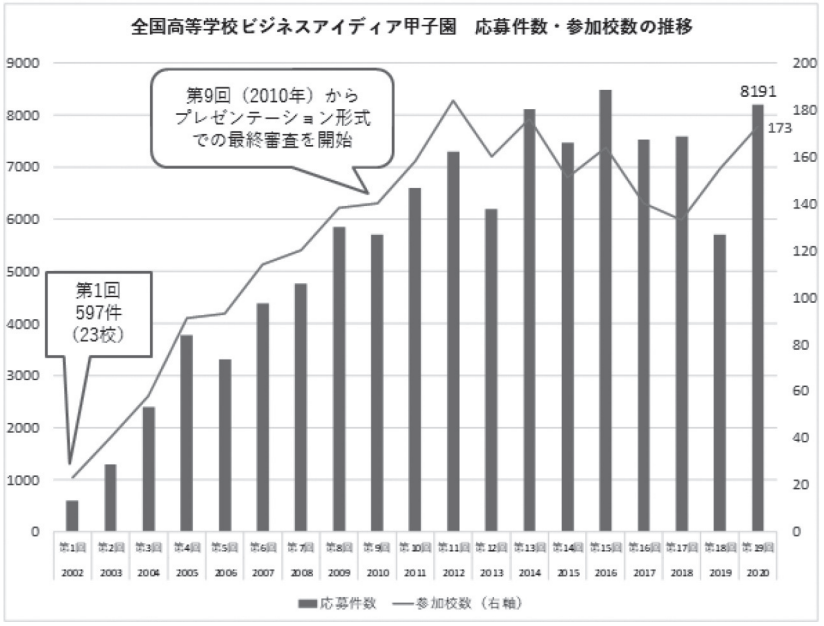
③全国高等学校ビジネスアイディア甲子園について

⑴「全国高等学校ビジネスアイディア甲子園への応募について」

大阪商業大学　経済学部
准教授　柴田　孝

全国高等学校ビジネスアイディア甲子園は、全国の高校生を対象とした、グループ応募も可能なビジネスアイディアのコンテストで、今年2021年で20回目の開催となります。大阪商業大学と毎日新聞社の共催で毎年開催しており、経済産業省、大阪府、大阪府教育委員会、東大阪市、東大阪市教育委員会、大阪市教育委員会、全国商業高等学校協会、東大阪商工会議所から後援をいただいております。

あらためて振り返れば、第１回の2002年には、23校から597件の応募をいただくことができ、無事にコンテストが始まりました。昨年2020年の第19回には、173校から8191件の応募をいただくまでになりました。この間、審査形式を応募書類のみによる審査から、プレゼンテーション審査に基づく最終審査へと変更するなど、改善を加えてきております。



コンテストの審査基準はウェブサイトおよび応募用紙に記載の通り『アイディアの新規性・独創性・市場性・および企画書作成能力（１．論理性　２．表現力）、熱意・意欲を含めた総合的なプレゼンテーション能力をもとに審査します。特に新しさ、面白さを評価しています。』としています。新しく、面白いことを発見し、まとめる企画力、そしてそれを伝える表現力は、皆さんのこれからの人生には必須の能力ともいえ、就職活動だけでなく、社会生活において重要視されています。

世の中に存在する解決が求められている課題に挑戦する過程で以下のような力が伸ばせると私は考えています。第１に「どのような問題かを知る（分析力）」、第２に「その問題の解決にはどのような方法があるかを考える（課題解決力）」、第３に「それを整理して提案する（表現力）」、そして第４に「アイディアが持続的なものとなるように資金繰りや運営などといったビジネス的視点まで考慮する（経営マインド）」です。

2020年度は新型コロナ感染症の蔓延により平常時の活動再開時期の見通しが立たない状況であったことから本コンテストの実施そのものについても検討しましたが、高校生の柔軟な発想によるアイディアを競う場を確保するべく2020年４月にコンテストの実施を決定いたしました。しかしながら、収束がみえない感染状況のなかで、全国からの移動を伴う対面でのプレゼンテーション審査は実現が難しいと判断せざるを得ませんでした。そのため、応募書類受付開始直前の2020年８月末に、プレゼンテーションビデオ（候補者作成）を用いた最終審査とすることを周知しました。最終審査当日は、審査会がおこなわれる大阪商業大学と、最終審査ノミネート者とを







画像出典：全国高等学校ビジネスアイディア甲子園ウェブサイト

ウェブ会議システムでつなぎ、オンラインで参加していただくこととしました。このようにして、例年とは違う形式での実施となりましたが、2020年度の最終審査ならびに表彰式を無事に終えることができました。応募者の皆様に感謝申し上げます。